

	科目名	教員名
	データ・リテラシー	高橋 尚子

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
渋谷	2022前期	金曜5限	2

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	社会人に求められる情報学、およびデータ駆動型社会への基礎知識
授業の内容	高校から大学への接続（アドミッションポリシー）で求められる情報・データ活用力、および社会との接続（ディプロマポリシー）で求められる大学卒業生年の情報・データ活用力に基づいて構成され、大学での教養教育として求められる情報学に関する幅広い知識を解説する。とくに、「情報倫理とセキュリティ」や「情報処理の基礎」を中心に、社会人になるために必要な内容をまとめた科目である。
到達目標	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校までに習得してきた情報科学や情報社会に関する知識を確認し、社会に出るときに必要な情報学、およびデータリテラシーの知識を積み上げる</li> <li>・ 情報およびデータと、経済・経営との関わりを理解し、適用や影響を考えられる</li> <li>・ 情報倫理やセキュリティ、それらに伴う法令に関する知識を理解する</li> <li>・ 情報処理に関する知識を確認し、知識を更新する</li> <li>・ 情報通信技術に関する知識を得て、これまでの知識を更新する</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報およびデータを扱うときに、情報倫理やセキュリティに配慮して行動できる</li> <li>・ 情報通信技術のニュースや記事を確認し、動向を追うことができるようになる</li> </ul>

授業計画	
第1回	<p>はじめに（授業内容の説明、高校までの情報知識の確認など） データリテラシーを学ぶ意義、情報を取り巻く社会との関係</p> <p>【事後学修 30分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第2回	<p>情報とコミュニケーション 情報と情報化・社会コミュニケーション</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第3回	<p>情報倫理 情報社会への参画・情報社会の権利と法</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】</p>

	<p>⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第4回	<p>社会と情報システム 情報システムとは・組織の情報システム・情報システム開発 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第5回	<p>情報ネットワーク ローカルエリアネットワーク・OSI参照モデル・各層のプロトコル 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第6回	<p>情報ネットワーク IPアドレスの管理の仕組み・LANからインターネットへの拡張・インターネットサービス 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第7回	<p>情報セキュリティ 情報セキュリティとセキュリティリスク・情報セキュリティ技術 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第8回	<p>情報セキュリティ 個人・組織での情報セキュリティの管理・サイバーセキュリティ 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第9回	<p>情報のデジタル化 アナログとデジタル・符号化の原理・数値の符号化・音の符号化・データの圧縮と情報量 (リアルタイム小テスト実施予定) 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第10回	<p>コンピューティングの要素と構成 ハードウェアの構成・ソフトウェアの構成 【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p>

	<p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第11回	<p>アルゴリズムとプログラミング コンピュータへの命令・プログラミング・アルゴリズム</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第12回	<p>データサイエンスの基礎 データベースの基本概念とさまざまなデータベース</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第13回	<p>モデル化とシミュレーション モデルを用いたコンピュータシミュレーション</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒理解できなかった用語や興味を持ったことを調べておくこと K-SMAPYの確認小テストに解答すること</p>
第14回	<p>★この回を授業1回分として課題レポートとする</p> <p>【事前学修 30分】</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒課題レポート提出</p>
第15回	<p>データサイエンスと人工知能 (AI)</p> <p>【事前学修 30分】 ⇒指定されたテキストを読み、事前に配信されたレジメを読むこと</p> <p>【事後学修 60分】 ⇒期末試験に取り組むこと</p>
授業時間外の学習方法	<p>授業内容で理解不足の単語などがある場合は、次の授業までに調べるようにすること。 ★授業後のK-SMAPYの確認小テストに解答する際、レジメを見直すこと ★レポート課題に取り組むときは、レジメだけでなく、参考文献を使用すること</p>
受講に関するアドバイス	<p>経済学部では「情報システム」などを受講するための基礎講座となる。</p>

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準
期間内試験	50%	用語の理解度、説明 仕組み、手法の理解度、説明 情報に関する計算など、
平常点	50%	課題レポート K-SMAPYでの小テスト 出席時のコメントなど

注意事項	教科書を利用した講義であるため、教科書を必ず用意すること。
------	-------------------------------

	リアルタイムで実施する小テストに、追試や代替措置はない。
実務経験に関する記載	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報社会、およびデータ駆動型社会についての基本知識を講義する
履修登録制限・備考	

教科書・参考文献等				
教科書				
「IT Text (一般教育シリーズ) 一般情報教育」高橋尚子ほか著、オーム社、2020年9月発行				
参考文献				
ISBN番号	書名	著者名	出版社	備考
	ITtext 情報とネットワーク社会	駒谷、山川、中西、北上、佐々木、湯瀬共著	オーム社	2011年
	ITtext 情報とコンピュータ	河村、和田、立田、山下、佐々木、岡田、山口共著	オーム社	2011年
参考になるウェブページ				
<a href="http://ipsj-is.jp/isdic/">http://ipsj-is.jp/isdic/</a>				

[↑画面上へ](#)